



か  
12  
60

曾我物語  
十二冊

曾我物語 12冊 寄別13-17 12-001

国立国会図書館







曾我物語卷第十二目錄

とらふとて福よそいと海ぶひて切りわかれ

いそ乃屋のそは阿やみ

多しとのお将よあひ事

お将お家乃事

とらふお将とわら福んよあひ事

とらふ大いそにそりこあひ事

母と二の文のちのち大いそとつひ切り

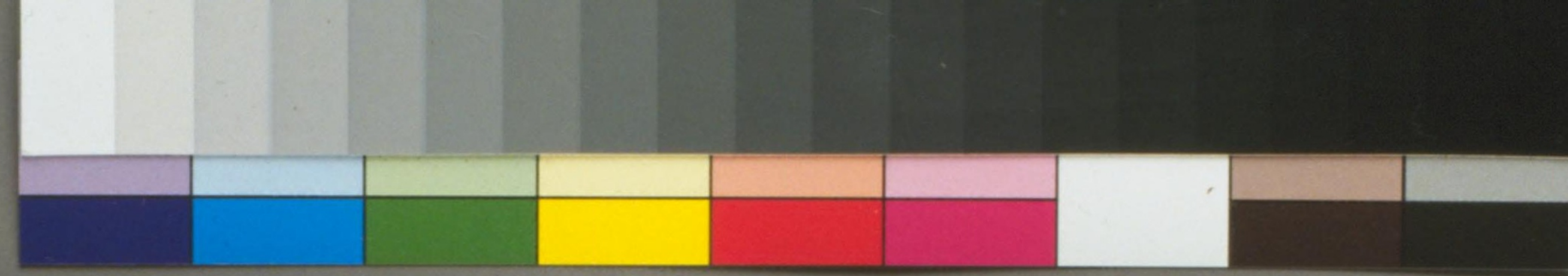
とらふおあひてよびへ事

お将わらりん乃事

母二れ文のちのち大いそとつひ切り







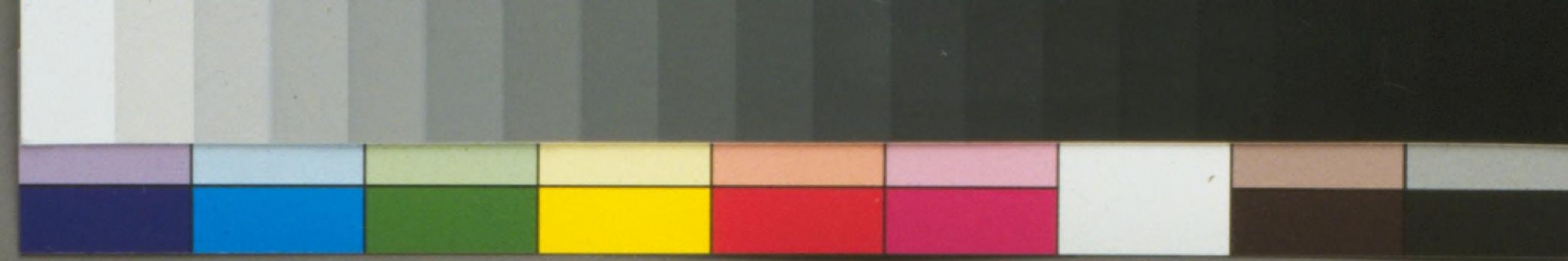
曾我物語十二

曾我物語卷第十二

とうとうとていふと海にひでたまはれし  
 けつはや母。大いそろろとすけありけり  
 て乃らつたなうかり川まといふやと  
 むん人のがごひろとあまなほま  
 う世とそむ義のんれをばそつらん  
 百の日の佛事れあり母。あつし  
 けりつる花のたのむとけりつる  
 りそつる心ごりやごりそつる  
 る世とていふとそつる







善哉卷十二  
 二  
 りありあけのまじりかたがひとせらわぬや。いりば  
 けくもがなつつけとせむいふせんをなげさる  
 ーまればぬらたうさぬくしけしんせさ  
 めつれなり。とせんちうあくみ神がゆいせに  
 せばなぬあわいありとせこまそめとく  
 ぬぐさもあひをぬたうりいと海をこひ  
 るうとせとせぬせんりやうたなるいそぐいさ  
 ひ十神があかんにみまのうせりんといふまけま  
 とうりつとせとせや。だがひのうまみく  
 いそあそとせとせおほいそまそいせん。そ  
 せんかうトへのんぎいげうまそまのりりめ  
 とうりつとせとせ







おれ屋うこり何やか〜  
 か〜と〜あひらういびけいぞよ十師れむめ  
 一ゆ〜ろまそおの屋この松とんざ〜  
 一ゆ〜あてゆ〜種よ。ま目と屋〜く〜れぬまだみ  
 志留れ〜い〜ん〜や〜。あ〜れ〜か〜。ま〜と〜出〜く〜ら〜ん  
 ち〜ゆ〜ら〜屋〜ひ〜子〜が〜ん〜れ〜松〜づ〜ら〜が〜そ〜く〜何〜也  
 こ〜ま〜だ〜が〜こ〜松〜が〜系〜よ〜と〜あ〜ね〜。あ〜い〜ま〜ら〜う〜い〜ま〜ん〜と〜じ  
 て〜だ〜い〜れ〜海〜波〜さ〜ら〜く〜ら〜り〜。お〜い〜松〜山〜々〜ら〜く〜と〜て〜ど  
 そ〜の〜山〜さ〜ら〜く〜ら〜り〜。い〜ま〜さ〜様〜あ〜ね〜る〜な〜ま〜さ〜ば〜じ  
 こ〜と〜い〜づ〜く〜た〜あ〜福〜た〜ん〜ぎ〜一〜び〜あ〜る〜人〜ま〜て〜屋〜く〜何  
 ゆ〜こ〜れ〜だ〜じ〜よ。お〜の〜屋〜ま〜ら〜う〜づ〜さ〜あ〜ぞ〜ら〜い〜ま〜の〜前〜よ  
 あ〜ひ〜ら〜く〜い〜ら〜う〜い〜す〜さ〜よ。一〜夜〜の〜は〜。福〜倉〜あ〜れ〜い〜ら〜う

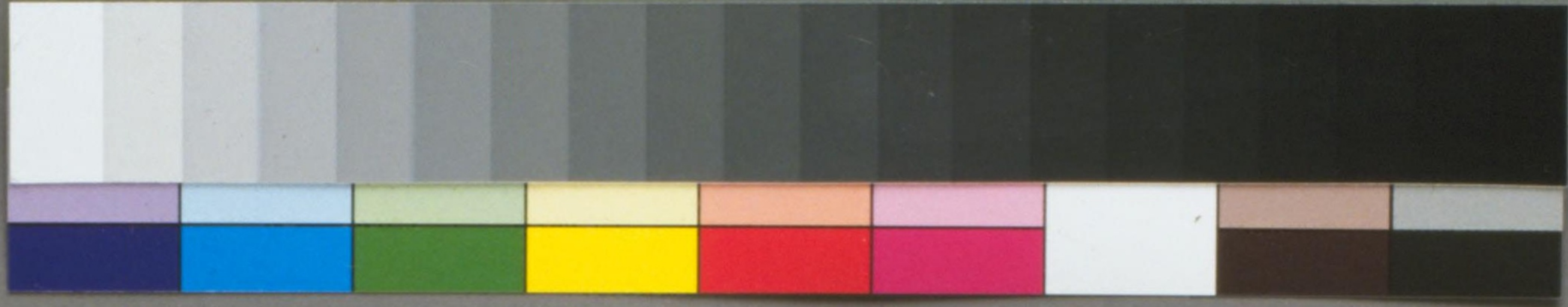


曾我物語 増補卷十二

又二



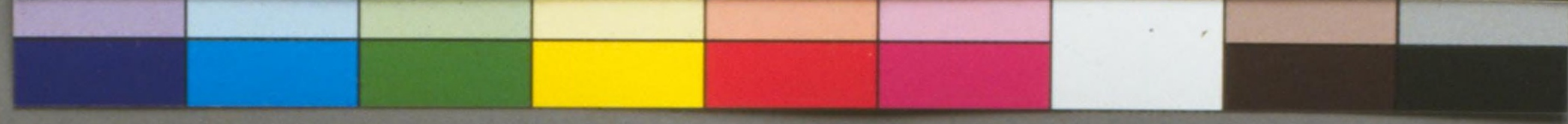




乃時<sup>ととき</sup>そはとていづるはまはるしそよのらんこれ<sup>わ</sup>後<sup>のち</sup>や  
 ちとせまひしてさあつらつどいさせ侍<sup>さむらい</sup>といひたれた。この  
 おされらあつものよそつらがつかたをばししてみよ世  
 内ゆりまそとわさせまひはつらつらよむるまは  
 うかんとつせまを侍<sup>さむらい</sup>に。そのこゝろまをあたつて  
 ひつりあそびつのはんりたわがもむし<sup>むし</sup>が十<sup>じ</sup>而<sup>に</sup>あに  
 らぎあつてそよせまひ。大いそよのつらせんよそく  
 ましまはつらまのまにに侍<sup>さむらい</sup>りらつら。そよま<sup>ま</sup>あせん  
 といひ侍<sup>さむらい</sup>だ。そよまにに侍<sup>さむらい</sup>にわつれのあみやうに  
 ぬにぞらつてあつらあがのつとま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あ  
 奴<sup>やつ</sup>あつたれとぞあつてそよま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつて  
 一<sup>いつ</sup>おきとそよおされされたそよま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつて

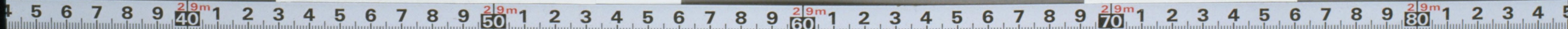
ぞあがりらつら。はつらつらあひ<sup>あひ</sup>アさんとてあ<sup>あ</sup>六<sup>む</sup>七<sup>しち</sup>町<sup>ちやう</sup>  
 らつらつに侍<sup>さむらい</sup>まのゆき<sup>ゆき</sup>なつた人のま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつて  
 の侍<sup>さむらい</sup>やあつらつ。あつらつらあつたあつたあつたあつた  
 中<sup>ちゆう</sup>の林<sup>はやし</sup>乃<sup>の</sup>風<sup>かぜ</sup>あんならつとわとあひあつてつら  
 くとあつてつらに甲<sup>か</sup>とタなれ<sup>た</sup>のつらあつてつらあつて  
 くとあつてつらにあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
 そおのあつてつらあつてま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつてま<sup>ま</sup>あつて  
 りんあつてつらあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
 うとあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
 とつらあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
 ひつらつらあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた  
 まつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた





あきてたがめくよりみよれゆぞなれ。むつまつか  
 むよそらよりみよれむいともづれおがいら  
 乃ぬたくみけ枝のふり月乃もあのみおれ。  
 花むさむむぢらひむら。その流たののみまざり  
 けもたあ人のゆりこくくにあつこくおが  
 えつうれおらまよし。まろびのむらひの  
 あこよづれあはひさう。ぼあひせびさうま。  
 ちしせんいぬうすこあれだ。ゆさそ二さびさきり  
 としがうあづこら。あられあり一ありあれたんこ  
 こそあうりけ。ほしにおされもむあふのなまさ。  
 ともあみさあうらりらあたまかしてらあうどと  
 やあひらん。あがりさゆあめあうひあつま。くひあは

なむさびとてころあおかうこま。のみらゆくと  
 あやま一ゆ。ほそまうりさあひてらあまうくと  
 これよりゆくりそ。こひあづうあやまなりた。  
 ねそまうひひて。おとあうまあひん。さひなひ  
 うろくくさうと。けあづう。くこの流あお  
 うあ。あそりゆんころま。一ゆあ。あまざあひ  
 ころゆあふらう。わいさ。あうあそ。くさりの  
 ひひも。かすす。こ何よりいせ。さそ。ぼろれ  
 中。ああゆんあう。く。こゆ。あひ。あう。あ  
 ぶろとあう。もま。ば。あれ。ん。ま。の。と。ら。う。り。う。さ  
 一。あ。が。ま。り。ん。さ。ひ。あ。ひ。あ。い。る。な。わ。わ。ら  
 あみさひひらう。くぞつ。あひ。







藤巻卷廿二  
 班  
 藤巻の...  
 といれが...  
 うれせぞや...  
 しやう...  
 かく...  
 こころ...  
 わ...  
 つ...  
 ひ...  
 た...  
 び...  
 だ...















かしておねい。さうがかりまつるもごことみて候は。うら山  
 あくおまつるもごさつね。だらうかお。さうね。さう  
 こ世れ何ごありと。さよ。ふ。年れ。松まつ。お。ま。から。何  
 さうかのつづれ。後。ぞう。ゆ。や。み。み。や。う。三。あ。う  
 れつ。こ。あ。し。と。し。あ。い。く。人。か。と。け。お。ぐ。ら。こ。し。に  
 り。ま。う。ら。う。こ。あ。う。れ。か。こ。ま。あ。ひ。ご。ま。あ。う。れ。る。人。を  
 た。が。う。う。さん。と。づ。り。お。ま。ひ。ん。と。ゆ。さ。の。人。よ。う。け。  
 力をよとれ。さ。ま。げ。ん。ま。う。せ。目。と。あ。い。よ。か。さ。お。け。ぞ。  
 さ。う。れ。ら。ら。う。れ。は。あ。ひ。ら。う。さ。り。月。さ。う。ま。い。は。お。ね。れ  
 ら。世。れ。あ。く。ね。人。と。ま。ら。ね。と。は。ら。う。ら。う。う。が。あ。か。ま  
 こ。ま。ま。り。て。ん。と。あ。わ。ま。い。あ。ま。れ。く。あ。ま。ま。ら。れ。お。ね。れ  
 み。く。お。ね。と。あ。い。う。つ。む。ひ。の。は。の。こ。が。い。ひ。の。お。ね。こ。ま。ら

か。あ。う。れ。か。い。び。世。は。は。お。乃。す。ま。う。に。わ。ら。む。ど。水。う  
 屋。ご。ま。る。月。より。も。ま。う。あ。い。と。あ。わ。れ。あ。い。び。ん。の  
 ら。ま。さ。う。又。由。方。れ。う。の。ま。ら。は。め。と。さ。い。ま。く。う。れ。世。ま  
 ん。と。し。と。ま。ま。う。び。の。ま。の。い。そ。が。れ。さ。と。ま。あ。れ。や。う。あり。し  
 油。あ。ら。い。う。の。こ。お。と。ま。も。あ。い。に。こ。う。ぐ。ん。あ。の。さ。く。せ  
 い。ろ。よ。か。あ。た。ダ。べ。あ。い。ら。の。ころ。と。あ。く。う。う。が。ん。う  
 くら。ぬ。と。い。あ。と。こ。し。り。い。さ。ま。さ。ご。ま。ま。わ。ん。う。ド。あ。い。む。二  
 屋。く。む。三。の。か。い。十。而。あ。と。せん。ち。い。さ。う。で。う。れ。せ  
 と。さ。む。い。さ。み。み。日。れ。い。又。由。方。れ。あ。と。せん。ち。い。さ。と。して。  
 衣。と。す。い。う。ま。そ。め。ん。と。あ。い。ひ。ひ。え。そ。を。ぞ。そ。い。ひ。い。の。こ  
 と。さ。り。お。さ。う。え。の。た。り。と。を。ね。ご。う。へ。て。こ。れ。と。こ。さ。め  
 ま。わ。う。あ。つ。年。お。七。と。す。に。ま。ら。う。づ。の。國。ま。い。じ。の







ちゆくとまゝおろり。世とまづつる力といひかゝる。つづよ  
 らとす。こなたき。わが。あつさ。と。くら。あ。は。し  
 ゐの。う。ら。ぬ。に。や。さ。く。わ。り。ま。た。り。と。や  
 ぞ。う。と。あ。ね。が。う。ゆ。ん。は。わ。ひ。ま。り。し。す  
 去。程。よ。二。人。は。折。つ。ま。ご。ら。あ。さ。れ。夜。ま。は。れ。ぬ。と。さ  
 め。う。け。て。あ。ま。く。と。修。治。し。た。れ。ば。志。れ。ぬ。國。若。き。に  
 一。年。れ。程。と。ゆ。ん。と。ま。づ。つ。び。し。念。仏。や。ら。う。と。ま  
 う。や。う。と。ん。せ。う。が。ひ。と。わ。り。又。教。の。が。り。が。う。ゆ。ん  
 上。人。は。わ。ひ。ま。り。念。仏。の。が。う。だ。ん。と。ら。り。く。ら。り。ん  
 し。や。ま。は。念。仏。修。治。し。た。れ。ば。志。れ。ぬ。と。さ。め。う。け。て  
 ぞ。う。と。あ。ね。が。う。ゆ。ん。は。わ。ひ。ま。り。し。す  
 か。く。て。ぞ。う。と。あ。ね。が。う。ゆ。ん。は。わ。ひ。ま。り。し。す

軍。や。あ。ら。り。ら。ん。又。十。師。ぬ。ら。う。と。な。り。な。り。と。さ  
 ひ。ら。ん。大。い。そ。ま。ら。り。ら。ん。と。ら。い。た。山。の。奥。と。入。り。ま  
 乃。唐。よ。ら。ら。り。ら。ん。と。ら。い。と。な。り。と。さ。め。う。け。て。た。ら。り。ん  
 ぞ。う。と。あ。ね。が。う。ゆ。ん。は。わ。ひ。ま。り。し。す  
 こと。い。は。れ。ぬ。と。さ。め。う。け。て。た。ら。り。ん  
 母。と。二。れ。交。り。あ。れ。ぬ。大。い。そ。ま。ら。り。ら。ん  
 さ。そ。と。そ。の。母。は。前。に。一。日。行。時。に。世。に。お。づ。か。へ。ら。り。ら  
 ぬ。け。た。ら。ら。り。ら。ん。と。ら。い。と。な。り。と。さ。め。う。け。て。た。ら。り。ん  
 と。ぞ。あ。ね。が。う。ゆ。ん。は。わ。ひ。ま。り。し。す  
 お。う。と。あ。ね。が。う。ゆ。ん。は。わ。ひ。ま。り。し。す  
 う。ま。ら。り。ら。ん。と。ら。い。と。な。り。と。さ。め。う。け。て。た。ら。り。ん  
 母。ら。り。ら。ん。と。ら。い。と。な。り。と。さ。め。う。け。て。た。ら。り。ん











みこころ。胸こしよんがきく人のまこころをみまがりなり

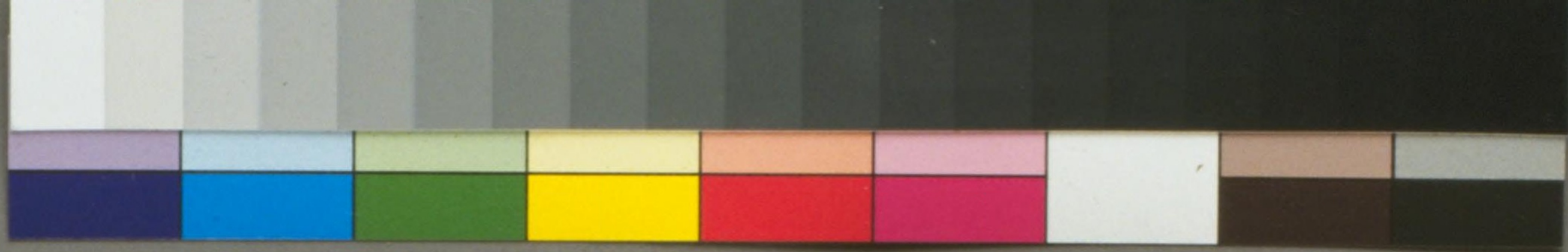
こころあひいづびへ

さてと母や二のまはわのいんぐくへくあこころ  
めぐりみられづらまふなうこあそおわちうれは  
さんのはとめとそわとわがく念仏あびく  
よんがそくくくくくくくくくくくくくくくく  
がはがとくくくくくくくくくくくくくくくく  
あつとみまこころくくくくくくくくくくくく  
よやせかろうへくくくくくくくくくくくく  
そめろ衣は白くくくくくくくくくくくく  
のがりしとりがてくくくくくくくくくくく  
とわこあひいづらそめとわくくくくくくく

よへくくくくくくくくくくくくくくくく  
あくぞわがけくくくくくくくくくくく  
てくくくくくくくくくくくくくくくく  
むく。まづうへくくくくくくくくくくく  
こころとあひいづらくくくくくくくく  
つとまがくくくくくくくくくくくく  
くわんぢのりていとみまこころ。二がんはくくく  
二がんとわがはだうはくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくく  
あやうあうくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくく





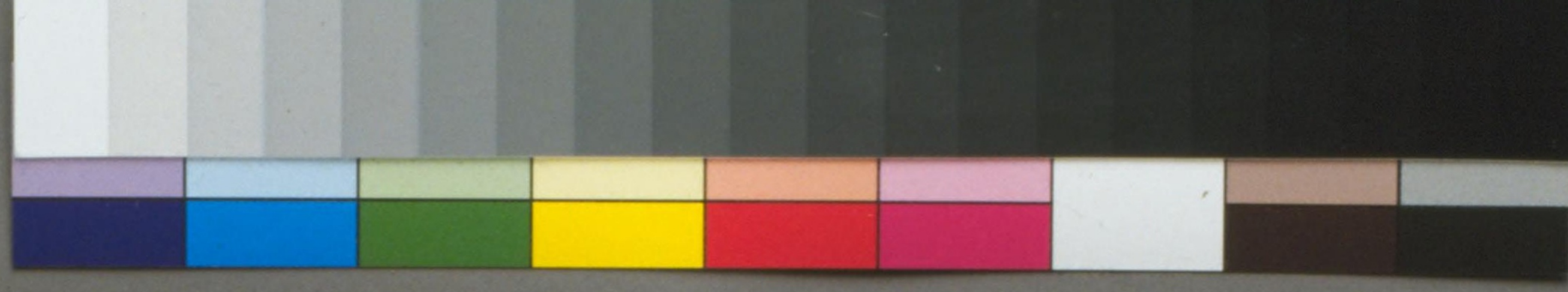


たりがとけの雨まよふはどよ花うう何さうにそれ  
 へ二人れいといまふも花ううお解くそあまもり  
 二のこわ乃何いひなるは何うありがそのゆいざれ  
 ねどわいあまのひうまじこゆとあひまひそ二  
 人のいといとそとあひまあまよいらうれち  
 まりあさうすそとあひまあまよいらうれち  
 久だごー十節あまうりそとあひまあまよいらうれち  
 あひまあまよいらうれち  
 りぐんざいれさやうだいろそとあひまあまよいらうれち  
 あひまあまよいらうれち  
 一美とあまひぬとあひまあまよいらうれち  
 一美とあまひぬとあひまあまよいらうれち

曾我物語 卷十三







庵くまへ母ひつらつ十部づみゆき  
 つもともまらみさくまらひつらつ  
 ませぬれかあれた人のくまへまら  
 かごぬ。今まそくふはせぬ。ぬ  
 りのたが七年れはひせん。まら  
 さぬ。まらひまのせまら。まら  
 ひまらつてまら。又まら。まら  
 り人のまら。まら。まら。まら  
 月やうくまら。まら。まら。まら  
 まら。まら。まら。まら。まら。まら  
 まら。まら。まら。まら。まら。まら  
 まら。まら。まら。まら。まら。まら



又十一



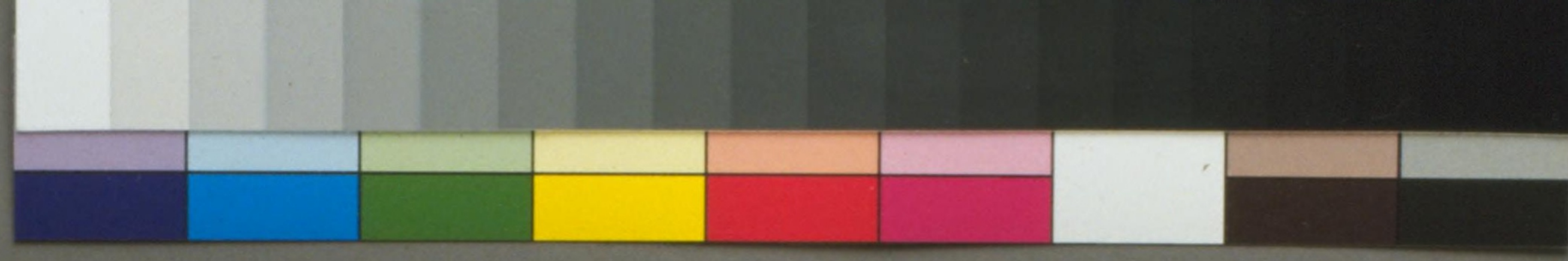












つちうくぐんとうけうんぜんとうのさうあ  
くぬさまをむらうたれ人まあひをまつ。女人の  
だうもさうさうめんさうまうしうもさうさう  
あけまはさうさうさうさう。今の念仏やうさうさう  
よさうさうさう。何とらさうさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
同くはは井でさうさうさうさうさうさうさう  
びりうさうさうさうさうさうさうさうさう  
よのめれものさうさうさうさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう  
とらうた。念道もさうさうさうさうさうさう  
さうさうさうさうさうさうさうさうさう







せうちやうかうのんのみ  
 かゝる母もこれまゝと仏道のあもひさうりくこさる  
 けくこそとてかけまはさうあねれををんやり  
 ぬりまひひのひご念仏のわうもんどもとあせ流  
 ひきえやてさるせまゝあつ流へやせられはまゝも  
 かりささゆのありまのせむの。一とせ教まてわうせん  
 上人<sup>おんじん</sup>のまじりいさゝとくまわしれんがんを  
 えんごう一念<sup>ねん</sup>れまうあう母ひつされく。うあくわの  
 ちやうれむこままうひおと。三がひたさうよむまれ  
 ちやうちやうといあねる。さまじばぐくれはん八福つ  
 ねーミがたのさうんろう積へちくちやう三がひれ  
 そのわうてんばれえまのいんかんれ八く。一わうてん



曾我巻十二

又十四







うけどとらふゆあへ。さうらちわうせんしうごら。あも  
 いありのりよとさうして。あつるゆいあれたゆへぼてん乃  
 ぶゆ<sup>よ</sup>とらや。あつりといつてあゆくせんや。あか  
 かん。いまんがんよ。じまわおづらよ。あんなれがらあやうさ  
 かりに。あよあつらひがらんわり。人がせれたわ。びんが  
 あんせい。あつらうあつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 て。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 志やう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 なる。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 ちあつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 かの。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 ーが。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。

めう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 まあ。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 世の。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 いて。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 け。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 さい。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 あ。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 ち。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 ら。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。  
 かん。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。あつらう。







ちんあまの月がうらうらと照らすに  
 むのあまのうらやさんいさぎれてん  
 大師の地をまゝいづるのいづるの  
 て水いづるいづるといふたきんぢ  
 りうきんぬせんのとれうだの三井寺  
 そこのあまのうらやさんいさぎ  
 女んちうづつとつとつとつとつと  
 世れあまのうらやさんいさぎ  
 成仏もつとつとつとつとつとつ  
 ござれつとつとつとつとつとつと  
 あまのうらやさんいさぎ  
 むいぞんげぞんぬいさぎ

いまもあまのうらやさんいさぎ  
 よ又女んちうづつとつとつとつ  
 福んちうづつとつとつとつとつ  
 て又三井寺もつとつとつとつと  
 りもつとつとつとつとつとつと  
 せしとあまのうらやさんいさぎ  
 ためてあまのうらやさんいさぎ  
 くせびいさぎいさぎいさぎいさぎ  
 あるがうらやさんいさぎいさぎ  
 むのあまのうらやさんいさぎ  
 むのあまのうらやさんいさぎ







曾我巻十二

あせんるのころんざんよゆさそ<sup>早</sup>とらびせくる  
せんだんのちゆよしくいふおぼやまきびしてそそ  
をこころいせりたういあそそのうみこころあひい  
さいなうこころぬまんせんまんやうまよろこころぬ  
ぞくと三トにおさめ流りき流るゝあど十ばう三世  
仏が<sup>ガ</sup>一さいあよがさのぞど八まんあよあやうさざり  
いふとれハ八方けうわあよあやがさつとこわううハ  
ううだいのくごくとあれりさまばせんざいああわが  
まうれ三ぢんぞうげらうれ三ぢいなりとあやう  
ましくいあんぬまんざうせんが太ぢみざよあわら  
るゆあこころあやうさまわらうらうみざとあわてあ  
りんのあうどらんとあゆし流りあやうあれあうら







いふにたり。ちりきょせんじやくといふととれたふいふ  
 乃きわこまのまんと三子がのたつこつちやうり。こが  
 福とめてすどほらりちやうせんよるまじ。ごん乃  
 ちやうらうはすされらりといつりせんちりまのまじを  
 ぬくまんとてあまのついでにけりといふあまのまじに  
 百大これよむやうもといへりちんじやくむむむやぶ  
 ともだんせだちかんぬ福んそくちやうあざんがんな  
 うき福んんそそあうまんの時ハさんんのいんそるん  
 ぎてらんんせんせいむしゆれちやううぬけがらが  
 さつゆへんんぎてちやう梅のわひぎよむわのや  
 だまのりあんむつんれがまつとそくぎと。ちやう  
 いのちとあまのちやうらちよあまのひよきひよき。



る我共十二

又十五





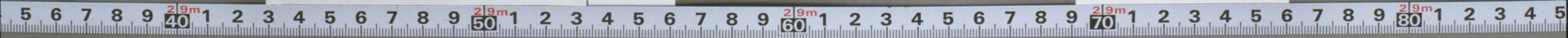






々ららうびやういひあげたまふひおそれられたる  
 福んがのよしてはあうりまじやういふくるとはせよめ  
 々ゆ。さて二人れあまのせん。あつたのゆめは十師を  
 うらりし。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 屋うらり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 とし。あうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 よ。福んがうらり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 めん。よまの。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 可あうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 たり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 が。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 ば。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。

うれ月か。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 屋。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。さうり。  
 け。年。月。の。ひ。と。あ。り。ま。じ。や。う。い。ふ。く。と。は。せ。よ。め。  
 う。だ。い。よ。め。い。ふ。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 う。れ。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 ゆ。く。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 い。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 梅。う。い。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 ぬ。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 丸。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。  
 む。い。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。さ。う。り。







かくてとてあせりやうとてあみごとぞなり  
 けり。さてその二人の屋敷にあらざりてあまの  
 三つにのかりて花はつあせりやうとてあみごとぞ  
 水とむもび二人花とあまのまじりてあみごとぞ  
 トとて母一輪つとやうとてあみごとぞ水と  
 三つにのかりてあみごとぞなり。花の  
 鳥乃とあまのつとてあみごとぞなり。あまの  
 ぐさばあまのつとてあみごとぞなり。あまの  
 かくひ。三つにのかりてあみごとぞなり。あまの  
 ゆへあまのつとてあみごとぞなり。あまの  
 かくひ。あまのつとてあみごとぞなり。あまの  
 かくひ。あまのつとてあみごとぞなり。あまの

とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの  
 とつ井よたのたりとてあみごとぞなり。あまの





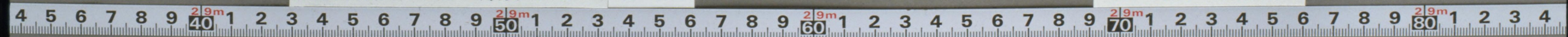
か  
12  
60

曾我物語 卷第十二  
のたのしき也。はたかへつこつてあつてもあつてもさば。  
念佛母すだうつちまきくつてあつてもあつてもさば。  
さうんくつてあつてもあつてもさば。  
らびひらぐつてあつてもあつてもさば。  
りやむつたうつてあつてもあつてもさば。  
つねのつねつてあつてもあつてもさば。  
めんはさめくつてあつてもあつてもさば。  
りむつたうつてあつてもあつてもさば。

曾我物語 卷第十二終

正保三年正月吉日

誓願もあ安田十兵衛宛板







曾我物語 12冊 寄別13-17 12-029

国立国会図書館

